

令和4年度学校評価アンケート実施報告

新庄北高等学校最上校

1 実施期間 令和4年11月18日(金)～令和4年11月23日(水)

2 評価者 生徒(40), 保護者(40), 本校職員(16)

3 分析

(1)「生徒の評価」

【評価の高かった項目 (3.5 以上)】

[8 コース・科目選択の指導は適切にされている。]3.5

【評価の低かった項目 (2.9 以下)】

[19 先生は、いじめや差別に厳しく対応している。]2.9

[20 悩みや困ったことがあったとき、先生に相談することができる。]2.9

[25 私は、最上校だよりや学級だより等をよく読んでいる。]2.7

【分析等】

＜全体として＞

「生徒の評価」全体平均は3.2（昨年度と同じ）と概ね良好。

＜良い点＞

「11 私は、明確な進路目標を持っている」が昨年比+0.3と上昇。進路課と学年の一体となった指導により効果が表れたものと評価できる。

＜改善・検討すべき点＞

評価の低かった項目の「19」「20」は、学校の対応への満足度が十分でない生徒がいることを示唆している。教職員のアンケートからは、十分な対応をしていることがうかがえるが、両者の思いに差がみられる。引き続き丁寧な対応を心掛けたい。

(2)「保護者の評価」

【評価の高かった項目（3.5以上）】

- [13 クラスマッチ・運動会・文化祭などの学校行事が充実している。]3.5
- [15 ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。]3.5
- [19 学校内の清掃や健康指導は行き届いている。]3.5
- [21 緊急・災害時や諸連絡用のメール配信は有効である。]3.6
- [25 最上校は、ボランティア活動や地域活動等に貢献している。]3.6

【評価の低かった項目（2.9以下）】

なし

【分析等】

<全体として>

「保護者の評価」全体平均は3.3（昨年度と同じ）と概ね良好。

<良い点>

「4 教え方が工夫されていて授業が分かりやすいと聞いている」が3.2と昨年から+0.3上昇した。丁寧な指導、一人一台端末活用、興味関心の喚起など様々な工夫の賜物であると評価できる。

<改善・検討すべき点>

全ての項目において3.0を上回っている。しかし、「いじめ対応、悩み相談」についてC、D評価の保護者が若干名いることを受け止め、生徒同様に、保護者に対しても引き続き丁寧で的確な対応を続けていきたい。

(3)「教職員の評価」

【評価の高かった項目（3.5以上）】

- [1 教育目標・経営方針を十分理解している。]3.6
- [3 本年度掲げた数値目標は妥当である。]3.6
- [4 教育課程は地域の期待や教育目標に応じたものになっている。]3.6
- [5 学校経営の観点に立ってお互いの立場を尊重して職務を遂行している。]3.6
- [6 同僚性を高め協働性・協調性を重視しながら業務にあたっている。]3.6
- [8 地域や保護者との連携に努めている。]3.5
- [10 どの生徒も伸ばす観点に立って、低学力者層の手立てを十分に行っている。]3.5
- [12 朝読書の実施をはじめ、読書活動の啓蒙に努めている。]3.6
- [13 3年間を見通した進路指導に努めている。]3.5
- [18 生徒会活動は、充実した活動を行っている。]3.5
- [20 生徒の悩みや相談に親身になって答えている。]3.6
- [22 学校情報や活動内容を地域に十分に公開している。]3.6

【評価の低かった項目（2.9以下）】

なし

【分析等】

<全体として>

「教職員の評価」全体平均は3.4（昨年度より+0.1）と良好。

<良い点>

評価の高かった項目が昨年度より倍増している。また、評価の低かった項目は昨年度2項目あったが、今年度は0である。

<改善・検討すべき点>

教職員のアンケート結果からは大きな改善点は見られない。しかし、これで満足することなく、生徒・保護者のアンケート結果を真摯に受け止めて、今後の指導にいかしていく必要がある。